ラプソディー（1954）

RHAPSODY

メディア 映画
ジャンル ドラマ　音楽　ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 115分
初公開日 1954/08/13
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

クラシックの中でもポピュラーな、チャイコフスキーのバイオリン協奏曲とラフマニノフのピアノ協奏曲第二番を主題とした、リズ主演の大メロドラマ。高慢ちきなヒロイン、ルイーズは決して共感できるキャラクターではないが、リズの柄には合って、男性観客はすっかり、相手役二人と同様に彼女に振り回された形で、マゾ的な愛を感じるかも。ルイーズは最初、父の反対を振り切って、チューリッヒの音楽院に学ぶ若きバイオリニスト、ポール（Ｖ・ガスマン）を慕ってかの地に向かう。が、コンサート・ソリストとして将来有望の彼は、練習にうるさく付きまとう彼女を疎んじているうちに、他の女との火遊びを目撃され、一旦は別れる。彼女の下宿の上階に住むＧＩあがりのピアニスト志望ジェイムズ（Ｊ・エリクソン）は彼女に横恋慕していたが、ポールと破局を迎えた彼女と愛なき結婚をする。すべて納得づくの関係もジェイムズには辛すぎて、彼は酒に溺れ、彼女のもとを去ろうとするが、彼を一流のピアニストに育ててポールを見返す手もある、という父の言に従い、ルイーズは彼に献身的に尽くし成功に導き、再びポールの気を引くことが叶う。しかし、クライマックスのジェイムズの熱演を聴くうち、彼女は彼への本当の愛情に目覚め、その胸に飛び込んでいく。演技・演出よりずっと音楽が雄弁な作品だが、短髪も似合うリズに見とれているだけで二時間は瞬く間にすぎるし、女性には場面ごとに変わるその衣裳が何よりの眼福だろう。

【クレジット】

監督	チャールズ・ヴィダー	Charles Vidor	
製作	ローレンス・ウェインガーテン	Lawrence Weingarten	
原作	ヘンリー・ハンデル・リチャードソン	Henry Handel Richardson	
翻案	ルース・ゲイツ	Ruth Goetz	
	オーガスタ・ゲイツ	Augustus Goetz	
脚本	フェイ・ケニン	Fay Kanin	
	マイケル・ケニン	Michael Kanin	
撮影	ロバート・プランク	Robert Planck	
編集	ジョン・Ｄ・ダニング	John D. Dunning	
音楽	ジョニー・グリーン	Johnny Green	
	ブロニスラウ・ケイパー	Bronislau Kaper	
出演	エリザベス・テイラー	Elizabeth Taylor	ルイーズ・デュラント
	ヴィットリオ・ガスマン	Vittorio Gassman	ポール・ブロンテ
	ジョン・エリクソン	John Ericson	ジェームズ・ゲスト
	ルイス・カルハーン	Louis Calhern	ニコラス・デュラント
	マイケル・チェコフ	Michael Chekhov	シューマン教授
	バーバラ・ベイツ	Barbara Bates	エフィー・ケーヒル

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

リチャード・ヘイグマン　　Richard Hageman

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.